

くすのき



～ご参観ありがとうございました～

お礼や紹介が遅くなり申し訳ありません

9月12日(金)の授業参観では、道徳・人権教育の充実の一端を公開し、保護者の皆様にも一緒に考えていただく機会としました。全学年の学習内容と感想を掲載して、本校の取組を紹介します。この紙面を通じて、身近な道徳・人権に関する会話を増やしていただけたらと願っています。

【 1年 はしのうえの おおかみ 】

〈学習内容とねらい〉

身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

〈児童の感想〉

- ・じぶんもくまくんみたいに、やさしくしたい。
- ・まわりのひとにやさしくしんせつにすると、とてもいいきもちになることがわかった。

〈保護者の感想〉

- ・「人に優しくすると、自分も優しくしてもらえる」これは、これから生きていくうえで、大切にしてほしいと思います。大人になっても、人に親切にすることという当たり前にできないこともあるかと思いますが、今の気持ちを忘れずにいてほしいです。
- ・自分のことだけでなく、周りの人がどのように思うかを考え、お互いが気持ちよく感じられるように行動することの大切さを改めて話し合うことができました。

【 2年 何であかんのやろ 】

〈学習内容とねらい〉

インターネット端末を介して習得する情報の特徴を理解し、差別を助長するような不適切な言葉があることに気付くとともに、何気なく言った言葉が人を傷つけてしまうことを知り、安易な言葉で誰かを傷つけないよう、人の気持ちを考えて行動する態度を育てる。

〈児童の感想〉

- ・わたしも、ちょっとわるいことばをつかってしまったことがあるから、これからは、わるいことばをつかわないようにします。言われてうれしいことばをふやしたいと思います。

〈保護者の感想〉

- ・言葉は、相手を幸せにすることも時には鋭い刃物がささった様に大きく傷つけることもあり、大人も子供も使い方を気を付けないといけないと改めて勉強になりました。
- ・これからの未来を担う子供達は大人の言葉づかいもよく見ていると思います。
- ・何気ない会話の中でも、相手の立場や気持ちを考えて話をしていきたいと思っています。



【 3年 自分を大切に 友だちも大切に 】

〈学習内容とねらい〉

相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えることの大切さに気づき、自分も相手も大切にしたいコミュニケーション力を身につける。

〈児童の感想〉

- ・私は、今日の「自分を大切に 友だちを大切に」をふりかえってみて、これまでの自分はあまり相手のことを考えていませんでした。でも、これからは、自分の意見もハッキリ言うけど、相手の心も傷つけないように考えてからしゃべりたいです。これまでの自分の言った言葉に対して、相手の心がどうなっていたのか考えてみたいです。
- ・自分も相手も大事ということがわかりました。言い方や表情ひとつで、気持ちが変わるのだなあと思いました。気を付けたいところは、はっきりつたえるけど、やさしくいうことです。

〈保護者の感想〉

- ・子どもがプリントに「話す前に考えてから話すようにしたい。」書いており、友だちを思いやる気持ちを持ちながら、自分の言葉に責任を持つという姿は、これからの生活にも大切だと思います。家庭でも、自分も友だちも大切にできるように見守っていきたいと思います。
- ・勢いに任せ、その場面の雰囲気や返事や会話をするのではなく、一呼吸おくことが大切。また、「ごめんなさい」や「ありがとう」という言葉には、魔法の力があり、この言葉を使うだけでだいぶ印象が変わるよ、と話をしました。お友だちには気を付けて話ができていても、家族やごく近い人にはできていないこともあるので、誰に対しても相手の気持ちを考えながら、自分の思いを伝えられる人になれるとすてきだね、という話をしました。

【 4年 すれちがい 】

〈学習内容とねらい〉

考えや思いを伝え合い、相手を理解して認めていく道徳的判断力を高める。

〈児童の感想〉

- ・相手の話や意見をちゃんと聞いて、自分の思いを伝えることが大切だと思いました。
- ・しっかりと友達と話し合いをするのが大切だと思いました。
- ・約束をする時には、時間を決めておいたらよいと思います。勝手に変更するのはいけないと思います。

〈保護者の感想〉

- ・すれちがいは、どうしても起きてしまうこと。その後、お互い落ち着いて相手の話を聞いて話し合えるかが大切です。たくさんの感情がある中で、どう落ち着けるか。相手にどれだけ思いやりの気持ちをもてるか。難しいことだけど、しっかり考えていってほしいです。
- ・このような場面は、日常でよく起こることだと思います。でも、起こってしまったことはしょうがない。後で相手とどれだけ向き合い、相手の話を聞けるかだという話をしました。悪いと思ったらしっかり謝る。謝ってきたらちゃんと許す心をもとう。無視をしてしまうのは、そのきっかけがなくなってしまうとお互い嫌な気持ちになるからよくないよ。話をするのが大切だよと話しました。

【 5年 どうだろう？私たちの生活 】

〈学習内容とねらい〉

- ・自分の権利について知ると同時に、自分と同じように周りの人も権利をもっていることに気付き、互いに尊重し合う社会をつくらうとする態度を養う。

〈児童の感想〉

- ・よりよい学校や学級にするために、ぼくは、だれでも自分の考えを発言できたりすることは、みんなが気持ちよく過ごすために大事だと思います。障害があるなし関係なく、みんなで遊んだり、もっと世界が明るくなればよいなと思いました。
- ・子どものための権利がこんなにあるなんて、びっくりしました。日本は守られているけれど、ほかの国は守られていない子どもたちがいるから、はやくこの権利条約が、どの国もあたりまえになってほしいなと思いました。

〈保護者の感想〉

- ・全ての人の人権が守られるべき事を学ぶ事ができ、有意義な授業だと思いました。私自身の勉強になりました。親の人権への意識が子どもへ影響する事を自覚し、親の意識から変えて親子で人権について話し合い、意識を高めていきたいです。
- ・今回の授業を受け、子供に、自分はこの権利を守られていると思うかと質問したら、「守られている!」と返答があり、安心しました。友達と遊べる、親と離れない安心感がある。自分の好きを認めてもらえているという理由でした。又、日本がこの条約を守ることになったのが、1994年と知り、親である自分の子供時代にはなかったことに、驚きと恐怖を感じたと同時に、このような条約がないと全ての子供達を守れない現実に関心が冷える思いがしたことを伝えました。子供も同感してくれたようです。難しい内容だったようですが、親にとっても、子にとっても、有意義な時間になりました。

【 6年 みんないっしょだよ～黒柳徹子 】



〈学習内容とねらい〉

- ・誰に対しても思いやりの心を持ち、親切にしようとする態度を育てる。

〈児童の感想〉

- ・一人だけでやるんじゃなくてみんなでなにかを解決したり、みんなで協力したりして乗り越えることをしていきたいです。
- ・学校とかで「みんないっしょだよ。みんないっしょにやるんだよ。」を活用できる場所は班活動とか、ペアフレンドとかいろんな場面があると思うから、そこで活用していきたいです。

〈保護者の感想〉

- ・人に親切にして喜ばれると子供でも大人でもうれしいという事。また最近では人との関わりが少なくなっているけど人はお互い支え合って生きているという事。平等・公平に思いやりを持って相手の事を考えて行動できるようにと子供と話しました。
- ・黒柳さんに関する道徳の授業を通じて「人とちがうって、悪いことではないね」と話しました。そして、黒柳さんのように周りに流されずに、自分が信じた道を歩む力はこれからの時代を生きる子ども達にとってとても大切な事だと改めて感じました。

これからも「ひびきあう子」「おもいやる子」「かっきある子」の「ひおかつ子」をめざし、よりよく生きていく子どもの育成に取り組んでいきます。ご協力をよろしくお願いします。